

DRIVE RECORDER

取扱説明書

ドライブレコーダー

XDR-66

シリーズ

MODEL:XDR-66S



MODEL:XDR-66KG



MODEL:XDR-66HG



MODEL:XDR-66URG



このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し必要になったときに取り出せるようにしてください。

目 次

お使いになる前に	2
安全上のご注意	3
製品の使用前の注意事項	5
SDカードご使用に関する注意事項	6
各部の名称とはたらき	7
取り付け上の注意事項	10
ドライブレコーダーを取り付ける	11
ドライブレコーダーを使う	13
音声ガイダンス機能の説明	15
映像の保存フォルダとファイル名の構造	16
外部映像機器へ接続する(機能設定モード)	17
外部映像機器を使用して映像を確認する	18
専用ビューアーをインストールする	19
専用ビューアーで映像を確認する	21
専用ビューアーでのプログラム設定	22
専用ビューアーでのSDカードフォーマット	23
FAQ(よくある質問)	24
その他の注意事項 / 故障かな?と思ったら	25
本体ソフトウェア(ファームウェア)のアップグレード	26
映像のバックアップを取る	27
製品仕様	28

お使いになる前に

このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。本製品は常時録画及び車体に受けた衝撃を感知して、その衝撃の前後の映像を記録する装置です。本製品を正しく安全にお使い頂くために、この取扱説明書を最後までよくお読みください。またお読みになった後も大切に保管し、必要な時に取り出してお読みください。

取扱説明書の内容は、商品の仕様変更などにより、予告なく変更される場合があります。最新の取扱説明書は、ホームページからダウンロードしてご利用ください。<http://www.watex-net.com/new/XDR-66tori.pdf>

本製品について

- 本製品は常時録画及び衝撃を感知して映像を記録する装置ですが、軽い衝突事故でセンサーが作動しなかったり、事故で電源コードが外れて電源供給が止まった場合など、状況によっては映像が記録できない場合があります。当社では映像が記録されなかったときの責任は一切負いません。
- 本製品は事故が起きたときの検証の補助として使用するものですが、法的証拠としての効力を保証するものではありません。
- LED 式の信号機は目に見えない高速で点滅しているため、本製品で録画すると点滅したり、消灯しているように録画されることがあります。LED 信号機が映らないことに際しまして当社は一切の責任を負いません。(P.24 項目 6 参照)
- 本製品で録画した映像は、場合によって被撮影者のプライバシー権利を侵害することがあります。映像を活用する際はその点に十分ご注意ください。録画した映像に関するトラブル等に際しまして当社は一切の責任を負いません。
- 夕暮れ時等、照明装置の状態（スモールライト等）によっては映像が映りにくい場合があります。
- XDR-66S は GPS を付属していないため、ご使用前に必ず時計設定を行ってください。(P.22 参照)「専用ビューアーでのプログラム設定⑥時計設定」時計設定をした後は、SD カードをドライブレコーダー本体に速やかにセットし、エンジンをかけ、本製品の電源を入れてください。また、定期的に時計設定を行ってください。

本製品を本取扱説明書に従い正しく使用していた場合でも映像及びデータの記録を完全に保証するものではありません。万が一映像やデータの保存ができなかった場合でも、当社や販売店は一切の責任を負いません。

安全上のご注意

製品本体及び取扱説明書には、ご使用になる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくご使用頂くために重要な事項を記載しています。下記の絵表示（図・マーク）を正しく理解し、記載事項をお守りください。



危険・警告



分解禁止



プラグを
抜く



禁止



指示



警告

以下の注意事項を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります。



本製品を濡らさないでください。水につけたり、水をかけないでください。また濡れた手で操作しないでください。感電・故障の原因となります。



運転中に本製品を操作しないでください。運転中に本製品を操作すると道路交通法違反になります。また交通事故の原因となりますので大変危険です。



本製品を分解しないでください。本製品は精密機器ですので、分解や改造を加えると感電・故障の原因となります。



本製品から煙が出たり、異常に発熱しているときは、ただちに使用を中止し、電源コードを抜いてください。



電源コードを分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。



電源コードを引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。コードが傷つくと火災・感電の原因となります。



窓付近等の水がかかるとの恐れがある場所に設置しないでください。本製品は防水仕様ではありません。水がかかると故障や火災・感電の原因となります。



運転や視界の妨げになる位置に取り付けしないでください。交通事故の原因となります。



注意

以下の注意事項を無視して誤った取扱をすると、使用者がけがをしたり、物的損害が発生する可能性があります。



本製品に強い衝撃を与えたり、高い所から落とさないでください。強い衝撃を与えますと精密部品が壊れ、故障の原因となります。



本製品をお手入れする場合は、電源コードを抜き、柔らかい布やティッシュペーパー等で優しく拭いてください。シンナー・ベンジン・化学雑巾等の薬品類は使用しないでください。



振動が多い場所など確実に取り付けできない位置に取り付けしないでください。本製品が外れて事故やケガの原因となります。



エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。



本製品を取り付けする時は、必ず付属の取り付け部品、ブラケットを使用してください。指定以外の部品を使用すると本製品が損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。



電源ケーブルは本製品付属品をお使いください。指定以外のものを使用すると火災・故障の原因となります。



付属のシガージャックケーブルが、シガーライターソケットの形状に合わない場合、ご使用にならないでください。火災・故障の原因となります。



本製品は12Vまたは24Vマイナスアース車専用です。それ以外の車には使用しないでください。



本製品は車両内部の温度上昇に伴い、高温になることがありますので取り扱いに注意してください。



電源がON状態または、録画中にSDカードを取り出すと記録データとSDカードが破損する可能性があるので注意してください。



本製品は、万が一の事故発生時に映像を記録することを目的とした装置ですが、すべての事故映像を録画することを保証したものではありません。センサーの設定値や事故の状況によっては、録画されないことがあります。



万が一映像が記録されなかった場合や、録画した映像が破損した場合などについては、弊社は一切責任を負いません。



本製品を設置する際には、『道路運送車両法に基づく保安基準』を厳守し、運転者の視界を妨げない位置に設置してください。



記録された映像は事故原因検証に対して補助的なデータになりますので、必ずしも証拠効力があるとは限りません。

製品の使用前の注意事項

- ・製品を使用する前にマニュアルを確認し、安全に正しくお使いください。
 - ・SDカードご使用に関しての注意事項をよくお読みください。(P.6)
-
- 本製品は常時録画、イベント録画機能で映像を保存する方式です。
 - イベント録画（手動、衝撃）のテストをして正しく録画されるか確認してからご使用ください。
 - 電源がOFF状態の場合も、青LEDランプが点灯状態のときは、絶対にSDカードを製品から取り外さないでください。録画データの破損や製品の不具合が発生する可能性があります。
 - SDカードが挿入されている状態でエンジンをスタートしても、青LEDランプが点灯しない場合（LEDランプが紫点滅している場合）、SDカードが認識されていない場合があります。電源をOFFにして正しく挿入してください。
 - 本製品は常時およびイベント録画方式で映像を保存するものですがすべての映像記録を保証するものではありません。
 - 重要な映像は他の媒体（CDやUSBメモリなど）へバックアップすることをお勧めします。
 - 商品受け取りの際に日付、時刻を設定してください。出荷時の日付、時刻、設定は初期値に設定されています。（GPS※接続時は自動的に設定されますので個別設定は必要はありません。）※XDR-66SはGPSが付属されていません。
 - 長時間使用していない場合、電源を入れてから1分間は録画できない恐れがあります。

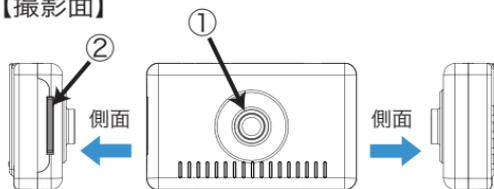
SDカードご使用に関する注意事項

- 推奨された付属のSDカードをご使用ください。推奨以外のカードでは映像保存が正常に行われないなどの不具合が発生する場合があります。その場合には動作の保証はいたしかねます。
- SDカードの出し入れは、かならずエンジンを停止しLEDランプが消灯してから行ってください。SDカードに記録された映像が消失する場合や、SDカードが破損する場合があります。
- なお、データは上書きまたは消去されますので、重要な映像は他の媒体（CDやUSBメモリなど）へバックアップすることをお勧めします。
- SDカードは指定した方向へ正しく挿入してください。
- SDカードを初めてドライブレコーダーに挿入した際にデータが消去されます。必要なデータが入っているSDカードは使用しないでください。
- ドライブレコーダーを使用した際にSDカード内に自動で作成されたファイルを削除したり、SDカードに他のデータを保存しないでください。
- 独自の専用記録方式で通常のフォーマットが不要です。但し、SDカードは消耗品のため、概ね半年を目安に新しいSDカード（推奨品）に交換をお願いします。

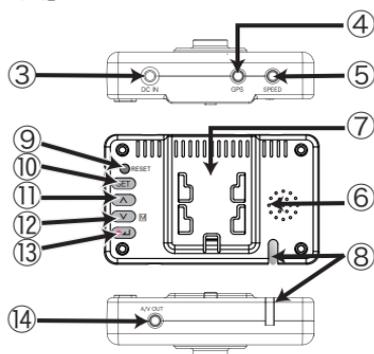
各部の名称とはたらき

〈製品本体の各部名称〉

【撮影面】



【操作面】



- ① カメラレンズ
- ② SDカードスロット
- ③ 電源接続コネクター
- ④ GPS入力
- ⑤ 車速センサートリガーケーブル入力
- ⑥ スピーカー
- ⑦ ブラケット差込口
- ⑧ LEDランプ
- ⑨ リセットボタン
- ⑩ SETボタン
- ⑪ ▲メニューアップボタン
- ⑫ ▼メニューダウンボタン
- ⑬ REC(録画)ボタン
またはメニュー選択
- ⑭ 外部映像出力

〈付属品〉

電源ケーブル (12 / 24V)	
XDR-66S-S XDR-66KG-S XDR-66HG-S XDR-66URG-S	XDR-66S-B XDR-66KG-B XDR-66HG-B XDR-66URG-B
 シガージャック ケーブル	 配線ケーブル

電源ケーブル用
固定クリップ



SD カード
(8GB)



SD カードリーダー



車速センサー
トリガーケーブル



〔XDR-66HG、
XDR-66URG に付属〕

ブラケット
(ブラケット取り付け用
両面テープ付き)



専用ビューアー /
EMS 運行管理システム
CD-ROM



保証書



取扱説明書
(本書)



EMS 運行管理
システム説明書



オプション (別売品)

RCA ケーブル



搭載車
ステッカー



SD カード (8GB/16GB/32GB)
一括管理ソフト・カメラカバー

〔XDR-66KG、
XDR-66HG、
XDR-66URG には
GPS が内蔵されます。〕

〔XDR-66KG、
XDR-66HG、
XDR-66URG
に EMS 運行管理
システムソフト付属〕

各部の名称とはたらき（つづき）

《各部の説明及び機能とLEDの説明》

1) 端子の説明

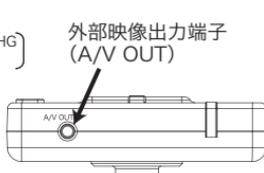
- ・電源接続端子 (DC IN)
- ・GPS 入力端子：ブラケット内蔵 GPS 受信機の接続端子。運行速度や位置などを記録し、日付、時刻の自動設定を行います。(対応機種：XDR-66KG、XDR-66HG、XDR-66URG)
- ・外部映像出力端子 (A/V OUT)：A/V ケーブルを接続して映像機器（ナビゲーション）の A/V 入力端子に接続するとリアルタイムの映像や録画映像を確認、設定値の変更確認が可能です。

※本製品から映像出力するためには【別売品】RCA ケーブルが必要です。
RCA ケーブルとナビゲーションが合っていない場合は別途購入してください。

【本体上面】



【本体下面】



車速センサートリガーケーブル入力端子※
(XDR-66HG、XDR-66URG に使用)

※車速信号の取り出しは、車両によって異なりますので
お買い上げの販売店または、カーディーラーにご相談ください。

【車速センサーケーブルの極性】

車速センサーケーブルは
XDR-66HG、XDR-66URG に付属

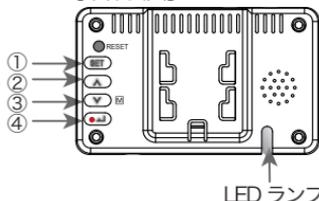
SPEED：車速/パルスケーブルと接続

コネクター：GND / INPUT / OUTPUT
(他製品と接続するときに使用します)

2) メニューボタンの説明

- ① SET ボタン：機能の設定、およびキャンセルボタン
- ② ▲：メニューアップボタンおよび音量アップボタン
- ③ ▼：メニューダウンボタンおよび音量ダウンボタン
- ④ REC (録画) ボタン：手動録画とメニュー選択ボタン

【本体裏面】



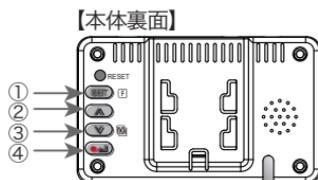
3) LED ランプの点灯と状態について ※P15 参照

青 LED	点 灯	常時録画
	点 滅	イベント録画
赤 LED	点 滅	走行中 ECO (経済速度) を超えた場合 (GPS 装着時)
紫 LED	点 滅	エラー発生 (製品および SD カード関連エラー)
青 / 赤 LED	クロス点滅	アップグレード中

各部の名称とはたらき (つづき)

《ワンタッチ機能ボタンの説明》

- ① SET ボタン
- ② メニューアップボタン
- ③ メニューダウンボタン
- ④ REC(録画) ボタン



1) **SET** ボタン (短押し) :

- 外部機器接続時
録画を一時停止し、外部機器に機能設定モードを表示します。(17 ページ参照)
- ファームウェアアップグレード時
ファームウェアアップグレード時に SET ボタンを押します。(26 ページ参照)

SET ボタン (5 秒長押し) : フォーマット機能 (26 ページ参照)

SET ボタンを 5 秒以上押すと音声案内後、SD カードがフォーマットされます。

フォーマットを実行すると、挿入されている SD カード内のデータが全て削除されます。データはあらかじめパソコンのハードディスクなどに保存してからフォーマットしてください。

2) 音量調節機能 **▲ ▼**

メニューアップ / ダウンボタンを使用して音量調整が可能です。(6 段階 : 0~5) ただし、エラーと注意事項の音声案内は音量調整ができません。

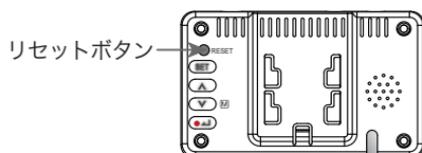
3) 音声録音の有効 / 無効機能 **▼ M**

メニューダウンボタンを 3 秒以上押すと、音声案内後、録音機能が有効 / 無効に切り替わります。

4) 手動録画機能 **● REC**

録画中に手動で REC(録画) ボタンを押すとシャッター音と同時にイベント録画を開始します。

《リセットボタンの説明》



ドライブレコーダーが動かなくなったとき本体を再起動するため、リセットボタンを押してください。

取り付け上の注意事項

本製品は製品特性上、本体がしっかりと正しい位置に固定されていることが非常に重要です。取り付け作業にあたっては本取扱説明書をよくお読みになり、内容をご理解し、正しく取り付けてください。

- 油分、水滴等の貼り付け面の汚れをきれいに拭き取ってからテープを貼ってください。汚れが付いているとテープの粘着力が弱くなり、走行中に剥がれる恐れがあります。市販のガラスクリーナー等で拭き上げてから貼ってください。
- 気温が低いと粘着力が弱くなります。冬季の寒い時期に取り付ける際はドライヤー等を使用して、粘着面を暖めてから貼ってください。なお、本体にはドライヤー等をかけないでください。
- 雨天や霧、梅雨の時期など湿度が高いときはテープに湿気が付着し、テープの粘着力が弱くなることがあります。できるだけ好天候の日に取り付けてください。
- 付属の両面テープは粘着力が強いため、一度貼り付けたテープはなかなか剥がれません。貼り直ししないで済むように取り付け位置は慎重に決めてください。
- 貼り付けが完了したら、ブラケットをしっかりと押さえつけて気泡等の貼りムラが無いか確認してください。貼りムラがあると、その部分から水分等が入り走行中に剥がれる恐れがあります。必ずガラスの裏側から気泡等が無いか確認してください。
- ブラケットの調整ネジは強く締めすぎないでください。強く絞めつけると破損する恐れがあります。
- 取り付けが完了してから24時間はできるだけ車を動かさないでください。振動により粘着面に空気が入り込むと粘着力が弱くなります。
- 本製品の設置作業は必ず平らな場所で行ってください。Nレンジで車が動いてしまうような傾斜地での作業は絶対に行わないでください。
- 取り付け位置は車両フロントガラス上部で、運転者の視界を遮らない位置に取り付けてください。またルームミラーを動かしても本製品に当たらない位置に取り付けてください。

ドライブレコーダーを取り付ける

取り付け位置を決めるにあたり、まず以下の点をチェックしてください。

取り付け位置

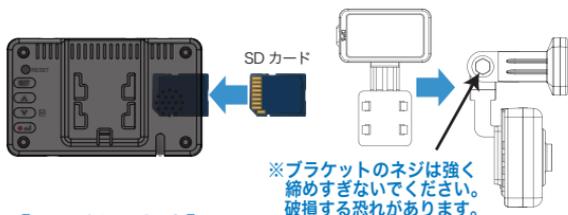
- ・ルームミラーの裏側あたり、運転席から見て視界を妨げない位置
- ・フロントガラス全体の長さから見て上部20%以内の位置
- ・取り付け後もルームミラーが動かせる位置
- ・付属のSDカードが容易に抜き差しできる位置
- ・雨天時、撮影範囲がワイパーで水滴を拭き取れる位置
- ・撮影範囲にサンシェードやフィルムがコートされていない位置



※養生テープなどの貼り直しが効くテープで仮留めし、上記の点を確認してください。付属のテープは粘着力が非常に強く、貼り直しがききませんので、作業は慎重に行ってください。

【取り付け準備】

1. SDカードをカチッと音がするまで差し込む
2. ブラケットを取り付ける
3. GPS対応機種はGPSをGPS端子に差し込む



【取り付け方法】

1. 取り付け面（ガラス面）の汚れを布等でキレイに拭き取ります。付属のブラケットを本体にはめ込み両面テープを剥がし、下図のように取り付けます。

※ 映像の基準に必要となりますので車体の一部が映る角度に調整してください。

※ 車速センサーケーブルの取り付けは、危険を伴いますのでお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。

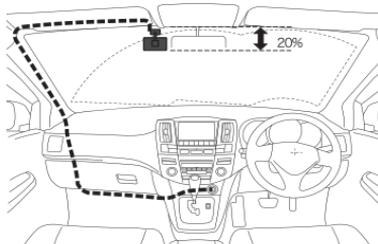
【乗用車の場合】 【大型車の場合】



2. 電源ケーブルを運転の支障にならないよう配線してください。

【配線上の注意】

- ・ クランプ等を用い、右図のように適当な間隔で配線を固定してください。
- ・ ドアに挟まる位置や乗員の足元等には配線しないでください。（断線の原因となります）
- ・ 運転に支障が生じますので、車内に配線を垂れ下げるようなことはおやめください。



ドライブレコーダーを取り付ける (つづき)

注意 電源ケーブル (配線タイプ)、車速センサーケーブルの取り付けは、専門の知識が必要になります。取り付けはお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。

取り付け (取り外し) や配線は、専門技術者に依頼する

⚠️ 誤った取り付けや配線をした場合、車に支障をきたすことがありますので、お買い上げの販売店にご依頼ください。

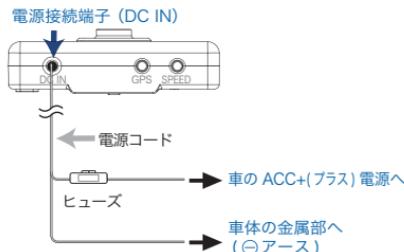
必ず、付属品や指定の部品を使用する

⚠️ 機器の損傷や確実に固定できず、事故や故障、火災の原因となります。

【電源ケーブル(配線タイプ)配線方法】

1. バッテリーのマイナスアースを外す
2. 配線ケーブルのヒューズがある方を、車のアクセサリ電源プラスに接続する
3. 配線ケーブルのヒューズがない方を、車体の金属部または、アース線に接続する
4. ドライブレコーダー本体の電源接続端子に電源ケーブルを接続する
5. バッテリーのマイナスアースを元に戻す

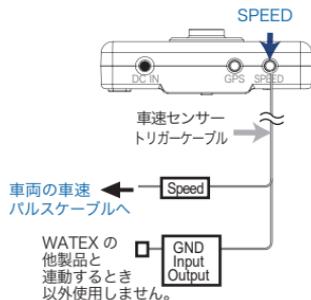
● 配線タイプの電源ケーブルの取り付けは、危険を伴いますので車両を購入された販売店にご相談ください。



【車速パルス取り出し配線方法】 対応機種：XDR-66HG、XDR-66URG

● 車速センサーケーブルの取り付けは、危険を伴いますのでお買い上げの販売店または、カーディーラーにご依頼ください。事前に車両の配線図を入手した上、車速パルス取り出し位置を確認してください。

1. バッテリーのマイナスアースを外す
 - ⚠️ 不用意にショートすることを防止するために必ず実施してください
2. 車両側の車速パルスケーブルの被覆をワイヤストリッパーで剥く (1 cm程度)
 - ⚠️ 芯線に傷をつけないように注意してください
3. 車速センサーケーブルの「Speed」を車速パルスケーブルに巻きつける
 - ⚠️ 半田付けやカシメ接続などにより外れないように接続してください
 - ⚠️ 市販のエレクトロタップ等の接続具は推奨しません
4. 接続箇所をビニールテープを巻き、絶縁する
 - ⚠️ 金属部分が露出したままでは、重大事故につながる恐れがあります
5. 本体に車速センサーケーブルを接続する
6. バッテリーのマイナスアースを元に戻す



【仮留め、テスト録画】

位置を決めたら、一旦録画 (テスト録画) を行ってください。付属のビューアーをインストールして (P.19 参照) 映像が水平に映っているか、撮影角度が上過ぎたり下過ぎたりしてないか確認してください。問題無いようであれば本取り付けを行います。



ドライブレコーダーを使う

SDカードを差し込んでエンジンをかければ、本製品の電源がONになります。電源が入ると自動的に録画がスタートします。

1) 電源を入れる前にSDカードスロットにSDカードを挿入します。



! SDカードの抜き差しは、必ず電源が切れている状態で行ってください。

※弊社が推奨するSDカードを使用してください。

※市販品のSDカードの中には本製品で認識されなかったり録画できないことがあります。

※SDカードをロックしたまま挿入すると、「メモリーカードが入っていません。」とアナウンスされます。

2) 車のエンジンを始動すると本製品の電源が入ります。

① 青LEDランプが点灯します。

② SDカードが未挿入、またはSDカードエラーが発生すると音声案内とともに、紫LEDランプが点滅します。

3) 映像を記録します。

① 常時録画

リアルタイムの映像がSDカード(NORMALフォルダ)に自動保存されます。

② 衝撃検知による録画

設定された値以上の衝撃を感知すると、衝撃前10秒から衝撃後20秒まで30秒間の映像がSDカード(EVENTフォルダ)に記録されます。

③ 手動による録画

手動で録画ボタンを押すと音声案内と一緒にイベント録画を開始します。

ボタンを押す10秒前から20秒後までの30秒間の映像がSDカード(EVENTフォルダ)に記録されます。

④ 録画停止

エンジンを切ると自動的に停止されます。

(エンジンを止めても電源を供給し続ける車種には使用しないでください。)

⑤ バックアップ機能

録画中、重大事故などの外部の衝撃によって電源が遮断されても、1秒間録画を続けます。

ドライブレコーダーを使う（つづき）

【車速パルス設定方法】 ご購入時一度だけ設定をお願いします

XDR-66HG、XDR-66URG のみ行う設定です。

はじめにGPSアンテナ、車速センサーケーブルが正しく接続されていることをご確認ください。

①GPS電波を受信すると「GPSを受信しました」というメッセージが流れます。その後、時速40～60kmの範囲内で1分以上走行してください。正しく車速が設定されると「車速設定が完了しました」というメッセージが流れます。

※何らかのエラーがあった場合、「車速設定エラーです」というメッセージが流れますので、再設定をお願いします。

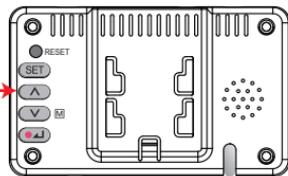
②設定終了後、最初に時速60kmに到達したとき「現在の速度は60kmです」というメッセージが流れますので速度計の値をご確認ください。

※著しく異なっていた場合には再設定をお願いします。

《再設定方法》

ドライブレコーダー本体のメニューアップボタンを3秒以上押し、
→メッセージ「車速設定が解除されました」

車速パルス設定を始めから設定してください。



車速設定解除

△メニューアップボタン長押し

※お願い

本製品はGPSを利用し車速設定を自動調整します。確実にGPSを受信してから、時速40km～60kmで1分間走行してください。

音声ガイダンス機能の説明

音量調整	ガイダンス音声	ドライブレコーダーの状態	LEDランプ
可	安全運転のため、シートベルトをお締めください。	電源が入ったときと再起動時	青点灯
不可	メモリーカードエラーです。	SDカードエラーを検出またはSDカードがロックされている	紫点滅
不可	メモリーカードが入っていません。	SDカードが入っていないとき	紫点滅
可	シャッター音	衝撃を検出したとき 手動で記録したとき	青点滅
不可	メモリーカードを初期化しています。	SDカードがフォーマット時	青/赤 交互点滅
可	システムを再起動します。	フォーマットまたは アップグレード完了時	紫点滅
不可	SETボタンを押してください。 アップグレードを開始します。 電源を切らないでください。	アップグレード時	青/赤 交互点滅
可	機能設定モードです。	機能設定モード時	青点灯
可	音声録音を開始します。 / 音声録音を停止します。	音声録音開始 / 音声録音停止	青点灯
不可	ピッ	電源を切ったとき	消灯
対象：(GPS付属モデル) XDR-66KG、XDR-66HG、XDR-66URG			
可	GPSを受信しました。	GPS受信時	青点灯
可	スピードの出し過ぎに注意してください。	設定された経済速度を超えたとき	赤点滅
可	長時間アイドリングが続いています。	長時間電源が入った状態で停車しているとき	青点灯
対象：(車速パルス付属モデル) XDR-66HG、XDR-66URG			
可	車速設定が完了しました。	車速設定が正しく完了したとき	青点灯
可	車速設定エラーです。ピピピ	車速設定が正しく完了しないとき	青点灯
可	車速設定が解除されました。	車速設定が解除されたとき	青点灯
可	現在の速度は60 km/hです。	車速設定完了後、はじめに 60 km/hに達したとき	青点灯

映像の保存フォルダとファイル名の構造

1) SD カードに保存された動画ファイル名の構造

SD カードの RECORDING フォルダに保存された動画のファイル名で録画日付、時刻、録画形式（常時録画、イベント録画）を確認することができます。

SD カード内の RECORDING フォルダの中のファイル名の例

例) S150630_111112FN.MOV

S	15	06	30_	11	11	12	FN
	年	月	日	時	分	秒	録画方式
	2015年	6月	30日	11時	11分	12秒	常時録画

録画方式	FN	Normal	常時録画
	FE	Event	イベント（衝撃、手動）録画

2) フォルダ構造とファイル構造

- Normal（常時録画）
- Event（イベント録画）
- SETUP フォルダ（録画映像の情報ファイル、プログラム設定の保存ファイル、GPS Data）

SD カードに生成されるフォルダ



外部映像機器へ接続する (機能設定モード)

ナビゲーションなどの外部映像機器に接続して、録画映像を確認したり(P.18 参照)ドライブレコーダーのプログラム設定(録画フレーム数、センサー感度調整、時計設定)を変更したりすることができます。(プログラム設定は、専用ビューアーでも変更できます。P.22参照)

1) 外部映像機器へ接続する

【オプション】RCA ケーブルをA/V 出力端子に接続します。【オプション】RCA ケーブルと外部映像機器のVIDEO・AUDIO 入力端子を接続するためのケーブルを別途ご購入いただき、【オプション】RCA ケーブルと外部映像機器を接続してください。(外部映像機器のVIDEO・AUDIO 入力端子に接続するケーブルの電子プラグの極性は、外部映像機器メーカーに確認してください。) 正しく接続されると録画中の映像が外部映像機器に出力されますのでご確認ください。

2) 外部映像機器に接続して機能設定モードを表示する

- ①本体に【オプション】RCA ケーブルを接続し、外部映像機器と接続します。
(別途RCA ケーブルと外部映像機器のVIDEO・AUDIO 入力端子を接続するためのケーブルが必要になります。)
- ② **SET** SET ボタンを押すと機能設定メニューが外部映像機器に表示されます。
(機能設定モード中は、録画が停止されます。)
- ③ **▲** メニューアップボタンまたは **▼** メニューダウンボタンでメニューを選択します。
- ④ **▶** メニュー選択ボタンで決定し、次の画面へ進みます。

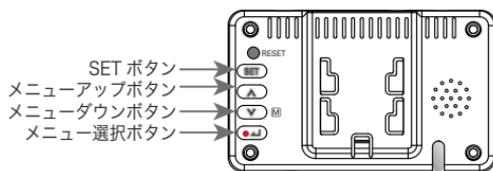
※ 注意事項：30 秒以上、ボタン入力がない場合は機能設定モードが自動的に終了し、録画を再開します。

3) 機能設定モード

(機能設定メニュー画面)

- 1.REC Frame
- 2.G-Sensor Set
- 3.Time Set
- 4.SD Card Format
- 5.Default Set
- 6.Player
- 7.Exit

【本体裏面】



No	機能設定メニュー	内容
1	REC Frame	Frame Rate (録画フレーム数) の設定 3 段階：30 / 25 / 20 fps
2	G-Sensor Set	センサー感度調整 5 段階：Low / Lo-Mid / Middle / Mid-Hi / High
3	Time Set	時計設定 (GPS 接続時は不要)
4	SD Card Format	SD カードのフォーマット
5	Default Set	製品出荷時の設定に戻します。
6	Player	録画映像を再生します。(P.18 参照)
7	Exit	設定メニュー終了

外部映像機器を使用して映像を確認する

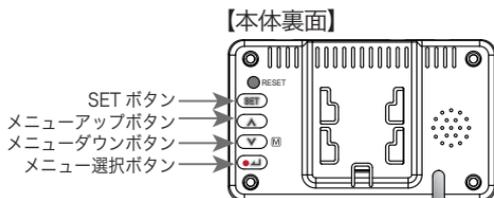
本製品はプレイヤー機能を内蔵しています。事故現場などですぐにVIDEO入力端子のある外部映像機器（ナビゲーションなど）を使って録画映像を確認することができます。

1) 外部映像機器へ接続する

【オプション】RCAケーブルをA/V出力端子に接続します。【オプション】RCAケーブルと外部映像機器のVIDEO・AUDIO入力端子を接続するためのケーブルを別途ご購入いただき、【オプション】RCAケーブルと外部映像機器を接続してください。（外部映像機器のVIDEO・AUDIO入力端子に接続するケーブルの電子プラグの極性は、外部映像機器メーカーに確認してください。）正しく接続されると録画中の映像が外部映像機器に出力されますのでご確認ください。

2) 機能設定モードで録画した映像を確認する

- ① **SET** ボタンで機能設定メニューを外部映像機器に表示し、**▲** **▼** ボタンで [6.Player] を選択し **▶** ボタンで決定します。



- ② **▲** **▼** ボタンでEventまたは、Normalフォルダを選択して **▶** ボタンで決定します。

各フォルダを選択すると最近の録画映像から順に確認することができます。

〈Player Select〉

- 1.Event Files(*)
- 2.Normal Files(*)
- 3.Return Main Menu

- ③再生中に **▲** **▼** ボタンで録画ファイルを前後スキップできます。

- ④再生中に **▶** ボタンを短く押すと再生ファイルを一時停止/再生できます。長く押すと次のフォルダ（Event→Normal）を再生することができます。

- ⑤再生中に **SET** ボタンを押すと再生を終了して録画を再開します。

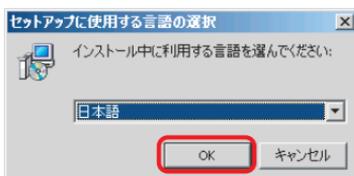
専用ビューアーをインストールする

CD-ROM 内のインストールファイルを実行してパソコンに専用ビューアーソフトをインストールします。

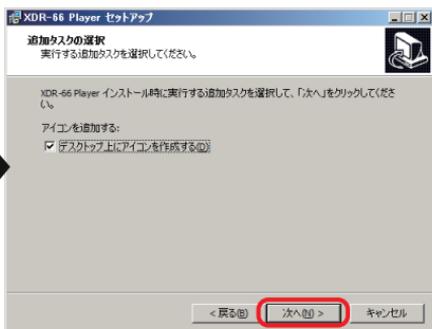
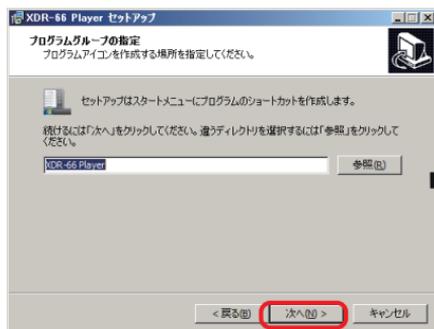
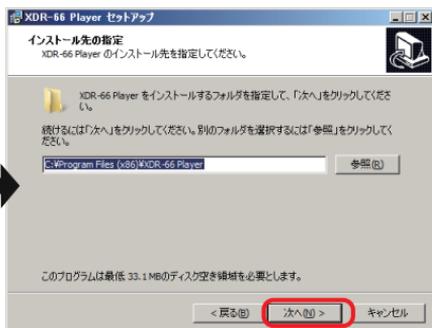
案内に従ってすべて「次へ」で進みます。

ビューアーソフトのインストーラーをダブルクリックして日本語または English を選んでOKをクリック

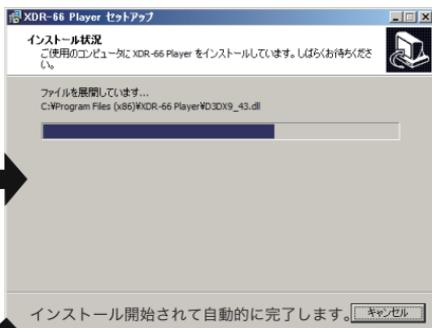
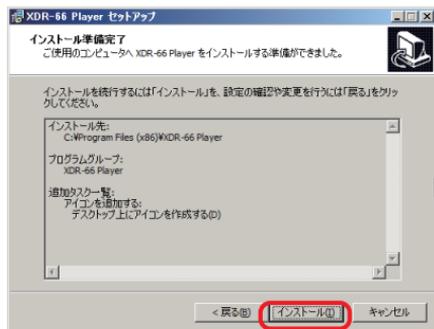
ダブルクリック



「日本語」または「English」が選択できます。
「English」を選択するとビューアーの表示が英語になります。



専用ビューアーをインストールする (つづき)



完了したらデスクトップに専用ビューアーのアイコンが生成されます。



ダブルクリックすると起動します。

ビューアーソフトウェアはバージョンアップを行う場合がありますので、ホームページより最新版のビューアーソフトウェアをダウンロードしてご利用ください。

専用ビューアーを開く

アイコンをダブルクリックして起動させます。専用ビューアーをインストールして、初めて開くときに1～20桁の英数字を入力してパスワードを設定します。

【専用ビューアーパスワード】 専用ビューアーを開くときにパスワードを設定します。



パスワードは忘れないようにメモしてください。
※パスワードを忘れた場合は再インストールが必要となります。



パスワード設定後、起動するときはパスワードを入力してOKボタンをクリックしてください。



変更ボタンをクリックすると上記の画面でパスワードを再設定できます。

専用ビューアーで映像を確認する

録画映像は専用ビューアーや一般の動画プレイヤーなどでも確認することができます。
※ただし、Gセンサー、運行速度、地図の確認などは専用ビューアーのみで確認可能です。

【専用ビューアー機能説明】

① WATEXホームページへのリンク



🏠 SDカードフォーマット

❓ プログラム情報

⚙️ プログラム設定

▢ 最小化

✕ プログラムの終了

③ 録画再生画面（録画日時/録音/GPS/ファームウェアのバージョン情報）

④ Gセンサー（加速度センサー）グラフ

⑤ 再生リスト 再生ファイル選択
 リストからファイル削除

⑥ 地図情報（GPS装着時）

⑦ コントロールパネル



↑ここをクリックして再生リストの表示/非表示を切り換えます。



録画のコントロールボタン

速度 km/h (GPS装着時)



動画の速度、明るさ、音量を調整

- ⏸️ 映像画面を静止画として保存または印刷できます。
- 📄 事故報告書作成：事故発生報告書をExcelファイル「Accidents_report.xls」として保存できます。
- 📊 Gセンサーグラフ(④)表示/非表示
- 📍 地図情報(⑥) 表示/非表示
- 🔍 地図情報(⑥) 拡大

専用ビューアーで映像を確認する（つづき）

【映像を確認する方法】

- 1) 付属カードリーダーを使用して SD カードをパソコンと接続します。
- 2) 専用ビューアーを開き、再生リストのフォルダをクリックします。



フォルダ指定
ファイル追加

リストから再生ファイルを削除したいときは、ファイルを選択して、をクリックしてください。

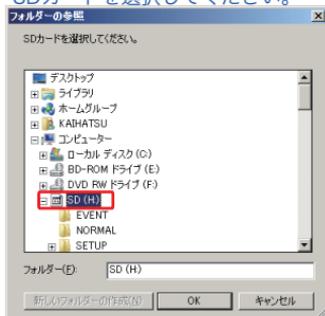
- 3) 再生したいフォルダまたはファイルを選択します。
 - フォルダ指定：SD カードの Event フォルダまたは Normal フォルダを選択します。
 - ファイル追加：ファイル単位で選択できます。
 - [▶] 再生ボタンで映像を確認することができます。
- 4) 地図でユーザーの運行ルートと位置を確認することができます。

専用ビューアーでのプログラム設定

ドライブレコーダーのセンサー感度調整、録画フレーム数の変更、音声録音の有無などが設定できます。

- 1) ビューアーの右上の  プログラム設定ボタンをクリックします。
- 2) ドライブレコーダーで使用するSDカードをパソコンに挿入して選択してください。

SDカードを選択してください。



①～⑥の設定ができます。⇒

- ① センサーの感度調整 (5 段階)
- ② ビデオサイズ (800×600/640×480)
- ③ 録画フレーム数 (20FPS/25FPS/30FPS)
- ④ スピーカーの音量 (0～5)
- ⑤ 音声録音 (無 / 有)
- ⑥ 時計設定 ※

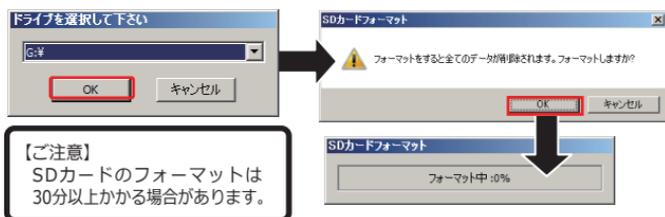
※ 時計設定をしたあとは、本体に SD カードを速やかにセットして電源を入れてください。
GPS 装着時は自動的に時間情報を入手しますので設定不要です。

専用ビューアーでのSDカードフォーマット

【専用ビューアーでSDカードをフォーマットする方法】

SDカードがドライブレコーダーで認識されなかったりSDカードエラーのときは、専用ビューアーでフォーマットしてください。それでも認識しない場合は、SDカードが壊れている可能性がありますのでSDカードを交換して使用してください。

- 1) ビューアーの右上の  SDカードフォーマットボタンをクリックします。
- 2) ドライブレコーダーで使用するSDカードをパソコンに挿入して選択してください。
※ SDカード以外に、他のUSBなどの外部機器を接続していないか確認してください。
間違ってもフォーマットするとデータが消えてしまいます。
- 3) OKボタンをクリックしてフォーマットを開始してください。



FAQ (よくある質問)

1) SD カードに録画できる時間を教えてください。

- A. 常時録画 / イベント録画の 2 つの方法の録画方式があり、容量に応じて保存する時間が異なります。

録画方式		記録フレーム	4GB	8GB	16GB	32GB
640x480	常時録画	30fps	約2時間40分	約5時間30分	約11時間	約22時間
		25fps	約3時間20分	約6時間40分	約13時間	約26時間
		20fps	約4時間40分	約9時間20分	約19時間	約38時間
	イベント録画	30fps	約40分	約1時間20分	約2時間40分	約5時間30分
		25fps	約50分	約1時間40分	約3時間20分	約6時間40分
		20fps	約1時間10分	約2時間30分	約5時間	約10時間
800x600	常時録画	30fps	約1時間20分	約2時間40分	約5時間20分	約11時間
		25fps	約1時間40分	約3時間20分	約6時間40分	約13時間20分
		20fps	約2時間10分	約4時間30分	約9時間	約18時間
	イベント録画	30fps	約20分	約40分	約1時間20分	約2時間40分
		25fps	約25分	約50分	約1時間40分	約3時間20分
		20fps	約30分	約1時間	約2時間10分	約4時間30分

2) もし事故が発生した場合、どうしたらいいですか？

- A1. 事故後、電源ケーブルを抜きデータの確保を行ってください。本体をそのままの状態に放置すると、本体が録画状態になっていた場合に録画データが上書きされ、事故時のデータがなくなってしまう可能性があります。
- A2. データの確保の方法は、①本体を事故車から取り外し保管する。②本体からSDカードを取り外し、パソコンなどを利用してデータ保管を行うなどの方法があります。
- A3. 警察や保険会社へSDカードを渡す際にはロック状態にし、さらにパソコンなどにバックアップを取ることをお勧めします。

3) 録画映像の確認方法を教えてください。

- A. 録画された映像は、パソコンおよびナビゲーションで確認可能です。
P.17、P.18、P.21～22を参照してください。

4) 故障した場合、どうしたらいいですか？

- A. 弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。(電話番号 0120-25-3930)

5) 【オプション】RCA ケーブルのプラグの極性を教えてください。

- A. 右画像を参照ください。
ナビゲーションは弊社の製品と互換性がないことがありえますのでご確認ください。



6) LED 信号機への対策は、どうしたらいいですか？

- A. 専用ビューアーのプログラム設定画面で録画フレーム数を (P.22 プログラム設定②) 関東圏などの 50Hz 地域でお使いのときは、20、30 フレーム
関西圏などの 60Hz 地域でお使いのときは、25 フレームでお使いいただくことをお勧めします。

その他の注意事項 / 故障かな?と思ったら

その他の注意事項

- ① SDカードの記録容量がいっぱいになると、古いデータから順に新しいデータに自動的に上書きされます。
- ② SDカードに記録されたデータをコピーしてパソコンのハードディスクなどの外部記憶媒体にバックアップすることをお勧めします。
- ③ GPSを未接続の場合は、録画ファイルの日時が実際とは異なる場合があります。P.22【専用ビューアーでのプログラム設定】の「⑥時計設定」を参照して再設定してください。

故障かな?と思ったら

電源が入らない

- ・車のエンジンはかかっていますか?本製品は車のアクセサリ電源と連動して電源が入ります。
- ・本体のDC INにコネクターがしっかり差し込まれていることと、車両に電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。

電源が切れない

- ・車種によっては、エンジンのON/OFFに関係なく常時電源が供給されているものもあります。この場合、そのまま使用するとバッテリー上がりの原因となります。アクセサリ電源から電源を取ってください。

映像を記録できない

- ・SDカードが挿入されていますか?未挿入の場合、電源オフ時にSDカードを挿入してください。
- ・SDカードが壊れている可能性があります。SDカードをフォーマットしてください。(バックアップは事前にとってください) それでも記録されない場合はSDカードを交換してください。

GPSを受信できない

- ・空がよく見える位置にセットしていますか?本体のセット位置を確認してください。
- ・ポータブルナビ、GPSレーダー探知機、PHS携帯電話等の電子機器を本製品の近くに置いていませんか?これらの機器を本製品から離してみてください。

軽いブレーキ操作等のわずかな衝撃でもセンサーが反応してしまう

- ・P.22【専用ビューアーでのプログラム設定】の「①センサーの感度調整」の値を調整してください。センサーの感度調整(5段階)〈鈍感←Low / Lo-Mid / Middle / Mid-Hi / High→敏感〉
- ・本体が車体にしっかり装着されていないグラグラな状態ですと、本体が揺れやすくなり、センサーが反応してしまいます。本体は車体にしっかりと取り付けてください。

ビューアーで見た録画映像にゴミの様な物が映る

- ・カメラ(レンズ部)が汚れていませんか?ウエスや柔らかい布等でレンズ部を拭いてください。

ブラケットが本体にはめ込めない

- ・多少固い作りになっております。注意しながら本体の方へ押し込みながらスライドさせてください。

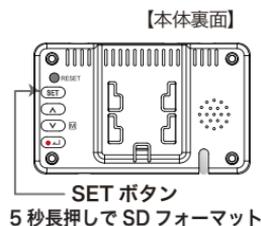
SDカードが本体で操作できない・認識しない

- ・SDカードのロックは解除されていますか?解除されている場合は、専用ビューアーのSDカードフォーマットボタンでフォーマットしてください。それでも認識しない場合は、SDカードが壊れている可能性があります。SDカードを交換してご利用ください。

故障かな？と思ったら

- 以下の症状でお困りの時は、本体裏側の SET ボタンを 5 秒長押しして SD カードをフォーマットしてから使用してください。

- ・再起動を繰り返す
- ・走行中に電源が落ちる
- ・SD カードに録画ファイルが保存されていない
- ・SD カードのファイルがおかしい
文字化け、データ、ファイルがないなど



それでも改善しない場合は、弊社お客様サポートセンターへご連絡ください。
(電話番号 0120-25-3930)

本体ソフトウェア(ファームウェア)のアップグレード

〈本体ソフトウェア (ファームウェア) のアップグレード〉

本製品の機能強化のため、予告なく本体ソフトウェア(ファームウェア)のバージョンアップを行うことがあります。最新版のファームウェアの情報はホームページにてご確認ください。

〈本体ソフトウェア (ファームウェア) のアップグレード方法〉

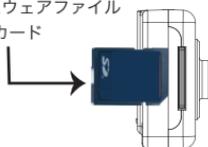
- 1) 最新のファームウェアファイルを保存したSDカードをドライブレコーダー本体に挿入します。
- 2) ドライブレコーダーの電源を接続します。(車のエンジンをかける)
- 3) 「SETボタンを押してください」と音声案内があります。
- 4) SETボタンを押します。(アップグレード開始)
- 5) 「アップグレードを開始します。電源を切らないでください。」と音声案内があります。
- 6) アップグレードが完了すると自動的に再起動します。再起動後、録画を開始します。

❗ご注意 アップグレード中は絶対に電源を切らないでください。

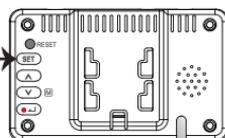
途中で電源が切れた場合、故障の原因となる場合があります。

ACC電源を利用してアップグレードをしているときは、終了するまで車両の電源が切れないようご注意ください。

最新のファームウェアファイル
を保存したSDカード



SETボタン



映像のバックアップを取る

ドライブレコーダーで記録した映像をパソコンのハードディスク等へバックアップ（保存）することができます。

1) パソコン上に保存先フォルダを作成

ファイルを保存したい場所にフォルダを作ります。

2) SDカードのファイルをコピーして、1) のフォルダに貼り付けます。

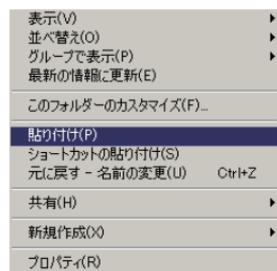
① SDカードの入っているドライブを開きます。（下記の場合【F】ドライブ）



② 下の図のようなファイルがあるので、録画データならEvent、Normalフォルダを選択して右クリックして【コピー】します。



③ 先に作成した保存先フォルダへ右クリックして【貼り付け】します。



【注意】

SD カード内に自動で作成されたファイルを削除したり、SD カードに他のデータを保存しないでください。

製品仕様

■ XDR-66 型式

名称	型 式		GPS	車速	日報
	配線タイプ	シガージャックタイプ			
XDR-66S	XDR-66S-B	XDR-66S-S	×	×	×
XDR-66KG	XDR-66KG-B	XDR-66KG-S	○	×	×
XDR-66HG	XDR-66HG-B	XDR-66HG-S	○	○	×
XDR-66URG	XDR-66URG-B	XDR-66URG-S	○	○	○

■ 製品仕様及び規格

外形寸法	約90(W)×55(H)×31(D)mm(取り付け部含まず)		重 量	約80g (SDカード含む)	
カメラ	200万画素HD C-MOS		カメラ感度	5LUX(@30IRE)	
カメラ画角	水平104° 垂直80° 対角138°		映像出力	1Vp-p(@75Ω)	
録画保存	ノーマル2分、イベント30秒(前10秒/後20秒)、電源断後1秒間録画保証				
記録方法	常時記録保存+イベント発生時は別フォルダへ保存				
記録データ	【XDR-66S】 録画、録音、Gセンサー情報、年月日、時間				
	【XDR-66KG】 録画、録音、Gセンサー情報、GPS情報(年月日、時間、場所) + EMS情報				
	【XDR-66HG】 【XDR-66URG】 録画、録音、Gセンサー情報、トリガ情報、GPS情報(年月日、時間、場所) + EMS情報、速度(車速センサー)				
録画解像度	640×480pix / 800×600pix		録画フレーム数	20fps/25fps/30fps	
対応SDカード	4 ~ 32GB (4GB Class 6、8~32GB Class10)				
録画時間	約1時間40分~48時間 ※録画条件、SDカードの容量で変化します。				
録画条件	常時録画 約2分単位、イベント録画 約30秒単位 ※但し録画条件により変化します。				
手動録画	あり		音声案内機能	あり	
消費電力	3.0W(Max)	電源電圧	DC12V / DC24V	動作温度	-10℃~60℃
パソコン 必要動作環境	Windows Vista / 7 / 8 / 8.1 〈CPU:1.6GHz以上 RAM:512MB以上 HDD:50MB以上 Display:1024×768(XGA)以上〉				
付属品	【共通】 電源ケーブル※1(ヒューズ2A)、ブラケット※2、電源ケーブル用固定クリップ SDカードリーダー、SDカード(8GB)、取扱説明書 / 保証書 【XDR-66S】 専用ビューアーCD-ROM 【XDR-66KG/XDR-66HG/XDR-66URG】 専用ビューアー/EMS運行管理システムCD-ROM(説明書) 【XDR-66HG/XDR-66URG】 車速センサートリガケーブル				
オプション	ドライブレコーダー搭載車ステッカー、RCAケーブル、SDカード(8GB/16GB/32GB) 一括管理ソフト・カメラカバー				

※1:電源ケーブルは、配線タイプとシガージャックタイプで異なります。

※2:XDR-66KG/XDR-66HG/XDR-66URGのブラケットはGPS内蔵になります。



株式会社ワーテックス

〒373-0004 群馬県太田市強戸町162 番地13

URL <http://www.watex-net.com/>

お客様サポートセンター係

 0120-25-3930

受付時間：月～金 8：30～12：00 / 13：00～17：30

(土日祝祭日・年末年始などの定休日ならびに特別休業日を除く当社営業日)